

Sophians Now

SOPHIA ALUMNI ASSOCIATION
7-1,KIOICHO,CHIYODA-KU,TOKYO 102-8554 JAPAN



上智大学ソフィア会
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL 03-3238-3041 FAX 03-3238-3028
ソフィア会ホームページ <http://www.sophiakai.gr.jp/> E-mail:jimukyoku@sophiakai.gr.jp
発行/上智大学ソフィア会 発行人/和泉法夫 編集人/風間 烈 浜村倫子 発行日/2010年11月26日

CONTENTS

- P1 秋季全国代議員会レポート
アンコールワット緊急報告
- P2 創立100周年に向けて母校の新たな動き
新たに3つの研究所が誕生
上智大学大阪サテライト・キャンパスを設置
- P3 2013年に向けた100周年記念イベント
- P4・5 創立100周年記念事業募金
卒業生の募金実績報告
卒業生パワー、母校を後押し—活発な団体募金
学生課外活動支援
- P6 ビタウ先生の活動
韓国ソガン大学交流戦
第51回上南戦
ソフィアズカップ
- P7 最後の会員総会が閉幕
- P8 2010年度金銀銅祝式典盛大に行われる
- P9 大盛況の金銀銅祝パーティー
- P10-11 ALL SOPHIANS' FESTIVAL 2010
- P12~14 ソフィアの広場
- P15-16 News & Information

秋季全国代議員会Report

代議員選考新ルール決定

最高議決機関として初の全国代議員会開催

ソフィア会は10月16日(土)午後2時半から、上智大学L号館(中央図書館総合研究棟)911会議室で、秋季全国代議員会を開催。ソフィア会の運営体制が改変されて後、最高議決機関として初めての全国代議員会を開催しました。

当日は、全国の代議員207名が出席。冒頭、和泉法夫会長が2010年度重点施策の中間報告を行った後、高祖敏明上智学院理事長が講演。「21世紀の上智大学の挑戦」と題して、グリーンケア研究所の開設など新たな教育研究機関の展開やキャンパス整備計画(グランドレイアウト第3期)案など、創立100周年に向けた取り組みや将来構想などについて熱く語られました。

その後、審議にうつり、6つの議案が和泉会長から提案され、満場一致で承認されました。特に、次期代議員選出方法について、最高議決機関変更検討チームから選考の基準(数、構成)について答申があり、次期代議員は、これまでの実績を重視し、出席率の高さと、地域・各種ソフィア会代表者等を中心に選考する基準が決定。その後、選考委員会のメンバーとして常任委員5名、代議員から5名が選出されました。

決議事項は下記の通りです。

- 1.ソフィア会最高議決機関変更検討チームによる答申に基づいて、次期代議員選考の基準(数、構成)を決定
- 2.上記に伴う会則改定案の承認
- 3.次期会長・副会長、監事、代議員候補者選出のための選考委員会のメンバー10名の選出
- 4.新規登録団体(地域・各種ソフィア会)6団体の承認
- 5.推薦会員1名、岡田仁孝教授(73外英相当)の承認
- 6.休会していたシニアソフィアズクラブの解散^(*)



また地方や海外在住の代議員に配慮して書面やWebによる投票、委任状も可能とすることが承認され、定足数も導入されました。今回から、遠隔地の代議員や参加できなかった代議員向けに、実験的にUstreamによるリアルタイム配信および録画による配信をスタートしました。

(*)シニアソフィアズクラブとは、1978年に中央図書館建設基金を目的に設立。10年間活動したが、その後20年間休会。会員約200名。

- 次期代議員選考 ●代議員数の枠を600名以内とする
- ルールの骨子 ●ソフィア会活動実績の尊重と同時に若い世代の参加勧誘

選出された選考委員会のメンバー

- 常任委員:風間烈(65外仏)、石川雅弥(65外英)、池田昭(70法法)、枝川葉子(72外独)、阿見利治(73理数)
- 代議員:中島貞夫(55経経)、堀井侃(61経経)、大河原毅(67経経)、上原隆一(76経営)、三溝真季(84法法)

承認された6団体

群馬ソフィア会、坂本康實ゼミ紀林会、理工学部物理内野研究室同窓会、キエフソフィア会、麻布ソフィア会、ESS同窓会

次回全国代議員会のお知らせ

2011年5月21日(土)予定

アンコールワット緊急報告

カンボジアの歴史を塗り換える廃仏6体新発見—2010年発掘現場から—

大学が春、夏、冬の休暇に入ると、カンボジアに飛び、アンコール遺跡国際調査団の活動の一環としてバンテアイクテイ寺院遺跡で考古学の現場研修を行うのが、ここ20年来の石澤学長の慣わし。2001年に調査団はこの研修中に274体の廃仏を土出したが、今年の8月にも再び同寺院の境内から6体の仏像を発掘した。スコールで土砂が流されて仏像の頭部が露出したものを、村の子供たちが見つけて通報してくれたと聞きます。以下は、石澤学長ご自身のレポート。

13世紀のカンボジアでは、王位をめぐる内戦があった。日本では北条氏の執権政治が始まるころである。政争に勝利し即位した王は、見せしめのために前王が信仰していた仏教を否定し、仏像を片々端から廃仏毀釈に処し、寺院壁の仏像浮き彫りを削ぎ落とした。

村人が篤信していた仏像が、一瞬にして無残にも廃仏となり、寺院内に放置された。廃仏事件は全国に吹き荒れ、推定で約4500体もの

仏像が壊されたと思われる。この事件を目撃した村人たちは、強い衝撃を受け、破壊された仏像破片を拾い集め、ねんごろに弔い埋納坑に埋葬した。

今回の6体の廃仏は、アンコールワットから東北6キロのところにあるバンテアイクテイ寺院から発見され、今から約800年前に埋められたものである。今回は6体とも内環濠をはさんで本殿に向けて一列に並べられ、埋められていたのである。これは何を意味するのか。6体ともかつては本殿において安置・礼拝されていた仏坐像であった。

こうした埋納状況には、当時の村人たちの篤信の気持ちが込められていた。2001年に本学アンコール遺跡国際調査団は、274体の廃仏を同じバンテアイクテイ寺院境内で発掘し、「世紀の大発見」といわれた。その274体の仏像は、現地シハヌークイオン博物館に収蔵され、公開されている。今回の発見は、あれから9年ぶりとなる快挙である。これらの仏像の発掘と考察により、13世紀のカンボジアの歴史が大きく塗り換えられ、これがアンコール王朝滅亡の謎の解明につながっていくのである。

この夏51回目のカンボジア人学生の現場研修中における思いがけない大発見であった。これは上智大学の国際学術貢献であり、マスメディアを通じ、全世界へ向けて発信された。

■熊本でアンコールワット展開催中! 12月5日まで(熊本県立博物館)



看護学科の新設 2011年4月スタート



第一校舎(完成予想図)
[目白聖母キャンパス]

予想図は計画段階のものであり、施行上等の理由により変更となる場合があります。
無断転載を禁止します。

聖母学院との法人合併認可 2010年10月29日 新たに上智大学目白聖母キャンパスが加わる

看護学科が設置される総合人間科学部は人間の尊厳実現のために貢献できる人材育成を行って多くの有為な人材を輩出してきました。この学部にも、聖母学院との法人合併認可を受けて、上智大学の教育理念を反映した新しい看護教育の実現を目標とした看護学科が2011年4月からスタートします。

これに伴い、2011年2月より上智大学の入学試験(入学定員70名)が実施されることになります。

あらたにソフィアファミリーとして加わる聖母学園は看護教育60年という歴史があり、卒業生は看護師・助産師・保健師・養護教諭として活躍されています。

新たに3つの研究所が誕生 創立100周年に向けて、昨年来新たに3つの研究所が母校に誕生しましたので、簡単にご紹介します。

グリーフケア研究所

JR福知山線の脱線による大事故のあと、犠牲者のご遺族のグリーフケアを実践するために聖トマス大学ではグリーフケア講座を開設し、その後2009年4月には研究所を開設しましたが、同大学が学生募集停止を決定したため、2010年4月から教育理念を共有する上智大学がこれを継承することになりました。日本で初めて「グリーフケア」を扱う研究所です。



日野原先生



高木所長

生命倫理研究所

ヒト胚、ヒト由来物質、ゲノムなどの医科学研究に加えて、精神医療、生殖医療、終末期医療、臓器移植などの医療倫理、さらには医療へのアクセス、子ども、高齢者、障害者など、医療・福祉も研究対象として、本学の基本理念である「キリスト教ニューマニズム」と「人間の尊厳」を基盤とし、生命倫理学の発展と進化に寄与することを目的とします。本年4月に設立されました。



半導体研究所

西澤潤一博士の功績を記念し、その研究成果に基づいて、半導体工学および関連する基礎電子工学・基礎物性に関する研究を行うことを目的に2009年10月1日設立されました。「周波数の開拓」をテーマとして、主としてテラヘルツ波と直流送電技術の研究を実施しています。テラヘルツ波の物理学、化学、生化学、医学、薬学などの分野への応用を目指します。



上智大学大阪サテライト・キャンパス(仮称)を開設

関西地区における教育研究拠点として

2011年4月よりカトリック大阪大司教区が大阪市北区梅田に建設中の大阪梅田教会の2階部分(約240坪)を借り受け、関西地区における教育研究活動の拠点として、また、カトリック大学としてのさまざまな活動拠点として「上智大学大阪サテライト・キャンパス(仮称)」を開設することになりました。

サテライト・キャンパスの活用方法については、本年4月に聖トマス大学(兵庫県尼崎市)から本学に移管されたグリーフケア研究所の活動拠点とするとも

に、公開学習センターが関西地区において開講している「エグゼクティブ・ビジネス・アカデミー」など社会人を対象とする公開講座の開設を検討しています。

また、このほかにも、インフォメーションコーナーを設置し、関西地区における広報活動の拠点とすることや、受験生に対する進学相談会、大学説明会、模擬授業などの会場、在校生のご父母との懇談の場、ソフィア会等同窓の活動拠点などさまざまな活用方法が検討されています。



大阪サテライト・キャンパス(完成予想図)
予想図は計画段階のものであり、施行上等の理由により変更となる場合があります。
無断転載を禁止します。

2013年に向けた 創立100周年記念イベント

関西ソフィア会のホストで「第2回地域ソフィア会全国大会」開催

「地域・各種ソフィア会活動への連携・支援体制の強化」は2009年に引き続いて今年もソフィア会重点施策の一つですが、その一環で重要な行事である「地域ソフィア会全国大会」が今年も関西ソフィア会のホスト役により、地元関西ソフィア会、ニューヨークソフィア会を含む21の地域ソフィア会から約200名の参加者を得て、11月6日(土)、大阪のANAクラウンプラザホテルで盛大に開催されました。この全国大会は、来年は山梨ソフィア会に引き継がれ、2013年の母校創立100周年には東京で開催されることになります。

当日はプレ会(地域ソフィア会情報交換会)で各ソフィア会を代表して参加された方々からそれぞれのソフィア会の紹介、課題・要望の提示などがあった後、午後3時から本会が始まりました。

辰巳貞一(73法法)関西ソフィア会会長の「ようこそ関西へ!」の歓迎の辞、和泉ソフィア会会長の「上智を発展させるのは卒業生」との檄に続いて、高祖理事長から日本の大学が直面する数々の問題と、それに対する上智大学の対応。石澤澤長からは、「教育に王道はない。その点に関して上智大学はブレていない」との力強いメッセージとともに、卒業生には、今後増えるであろう上智大学への留学生に対して1日でも2日でもホームステイをお願いしたい。また、社会的弱者に手を差し伸べて欲しい、ソフィアンに拜金主義者はいないはずであるとの、具体的なお願いが発せられました。

続いて、ゲストスピーカーの新井 満氏(70法法)が「上智大学に学んで培われた精神」を基調テーマに講演。「千の風になって」、「この街で」の作詞、作曲、カバー歌手などにまつわる数々のエピソードを披露され、かつ



新井 満氏

ご自身で歌いながら、同氏の多方面にわたる活躍のバックグラウンドにあるのは“Men and Women for Others, with Others”言ってみれば他者に尽くす精神、国際性、そして絆(その元は愛)といった上智で培った精神であると淡々と語りかけ、参加したソフィアンを魅了しました。

本会の終わりに、和泉会長から来年の第3回全国大会開催地である山梨ソフィア会の深澤萬民会長(59文英)に委嘱状が手渡されて本会は滞りなく終了。続いて隣の会場で行われた懇親会も大盛會でした。

絶妙なコンビネーションで大会をリードしてくださった、NHKの元アナウンサー兼本泰興さん(73文社)と現アナウンサーの中村慶子さん(05理化)、懇親会会場でもハンドベルを演奏くださった皆さま、翌日の秋の京都の4コースの散策ツアーでガイド役を務めてくださった京都在住の鴛淵晋一郎(68文哲)リーダー他の皆さま、そして大会実行委員会の辰巳委員長、中尾岳史副委員長(83法法)ほか関西ソフィア会の幹事の皆さま大変お世話さまでした。

第3回地域ソフィア会全国大会予告
2011年10月22日(土曜日) 開催地:山梨



100周年関連イベント

ソフィア・ルネッサンス連続講演会 (Sophia Renaissance Series of Lectures)

社会活動の中核的役割の担い手や、事業基盤を持ちながら責任ある活動によって社会の課題を解決する社会起業家(ソーシャルアントレプレナー)など、国際社会でリーダーシップを発揮し、社会貢献できる人材を育てるべく、各分野で活躍する第一人者や国際舞台で実践、活躍している方々による連続講演会を2009年度から2013年度まで各年6回(通算30回)行う企画です。

2010年度は、「国際社会への提言=持続可能(サステイナブル)社会にむけての社会貢献のあり方」と題し、「社会起業家(ソーシャルアントレプレナー)」「持続可能(サステイナブル)社会」をキーワードとした講演会としています。

- 第7回●5月12日/原 丈人氏(アライアンス・フォーラム財団代表理事)
「未来を担う人材育成と公益資本主義」
- 第8回●6月17日/岡田仁孝氏(上智大学国際教養学部長)
「グローバル化と持続可能な世界の構築 CRSとBOPIに焦点をあてて」
- 第9回●7月16日/チャールズ・マクジルトン氏(Second Harvest Japan理事長)
「Second Harvest Japanの7つの理念」
- 第10回●10月15日/川島良彰氏(日本サステイナブルコーヒー協会理事長)
「コーヒーを通して考える「サステイナビリティ」」
- 第11回●11月5日/秋元義彦氏(株式会社パン・アキモ代表取締役社長 救缶鳥プロジェクト本部長)
「小さなパン屋の挑戦!」「パンの缶詰」で世界の飢餓を救いたい。
—小企業でもできる持続的社会的貢献事業—」

また、講演会後の懇親会では、講演者、ソフィア会会員、在校生、学院・大学役員が直接接し、語り合い、貴重な交流の機会となっています。

- 第12回●12月2日(木) 18:30~(18:00開場)
- 基調講演:鬼頭宏氏(経済学部教授 地球環境研究所長)
「環境リテラシー教育の構築をめざして」
- パネル・ディスカッション:
「大学の社会的責任 エコキャンパスの実現と環境人材育成」
- 藤田和芳氏(NGO大地を守る会会長 70法法)
- 鮎川ゆりか氏(千葉商科大学教授 71外英)
- 中根太郎氏(上智大学大学院地球環境学研究所2年)

参加者からは、「将来を考えるための良いヒントを得た」「毎回刺激をうける」との声が寄せられています。

上智高校生講座Veritas

主に高校生を対象に、幅広い開講科目を提供し、オープン・キャンパスだけでは伝えきれない“大学の面白さ、学びの楽しさ”を体験してもらうことにより本学への興味関心が高まることを期待し、二世帯・三世帯でつながるソフィアファミリーの構築、また、地域貢献を目的とした「上智大学高校生講座Veritas」を2013年度まで開講しています。

2010年度は、西澤潤一上智学院顧問/特任教授によるサイエンス講座「より身近に感じられる科学」を開催しています。

プレ講座●2010年 3月13日「科学とは」

第1回 ●2010年 5月15日「地球の果て」

第2回 ●2010年10月 2日「物を切っただけでゆくと」

参加した高校生からは、「科学の面白さが分かった。自分と自然科学のつながりを知ることができ、良い機会だった。自分の考えていること、研究したいことを追及していくのは、おもしろいと感じました。」「地球の果てという題の講義でしたが、先生の今までの経験をもとにした幅広い内容をきくことができ、とてもためになりました。「未見の我を発見せよ」という精神をもとにこれから沢山勉強していきたいです。」「ただ原子の話をするだけでなく、もの見方-歴史、戦争の話をおりませながらの講義を聞いて、興味深かった」、などの声が寄せられました。なお第3回は延期になりました。

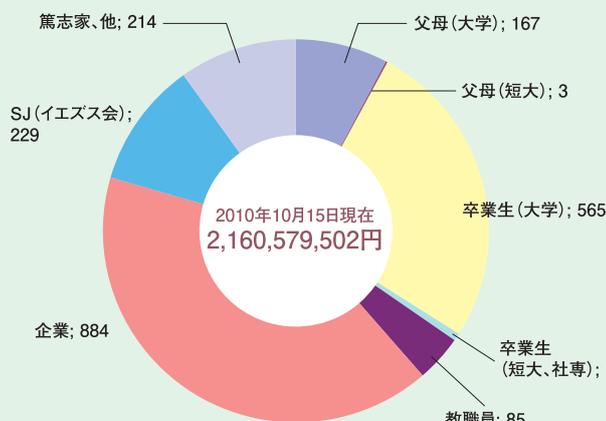


卒業生の募金実績報告 5億円超の大きな貢献に感謝とともに更なる協力をお願い

創立100周年記念募金に対する卒業生の貢献は表1のようにすでに5億6千万円に達し全体の募金実績の26%を占めています。経済情勢を反映して企業からの募金が厳しい現状の中で卒業生による募金が重要度を増しています。目標の10億5千万円に対してはまだ54%で道半ばではありますが、グローバル30はじめ国際社会に貢献するさまざまな取り組みをしている母校のために今後ともご協力をお願いします。

表3のように過去の募金に対しての卒業生の協力と比較しても大きく向上しています。また様々な形での母校への募金協力(募金グッズ、団体募金、アフィリエイト募金等)は大きな広がりを見せています。創立100周年まであと3年、今後とも更なる募金協力をお願いいたします。

■募金実績(カテゴリー別比率)(表2) 単位:百万円



■ソフィア 会過去の募金実績(2010.10.15)(表3) 単位:円

	期間	全学実績	実績金額	貢献度	
中央図書館建設募金	1977.12	6年間	6,047,785,659	80,593,327	1.3%
図書館整備募金	1983.12	2年間	729,845,771	9,938,582	1.4%
創立80周年募金	1992.12	5年間	1,450,683,145	175,171,310	12.1%
創立100周年募金	2004.12	5.5年	2,160,579,502	565,359,663	26.2%



メインストリートの100周年記念街頭旗

■年度別募金の推移グラフ(表1)

卒業生パワー、母校を後押し—活発な団体募金

ソフィアの皆さまには、日頃より母校創立100周年記念事業募金にご協力をいただき感謝申し上げます。

昨今の困難な経済情勢下、企業からのご寄付が減少傾向にあるなか、卒業生からのご寄付は変わることなく、とくに団体の寄付件数が増えたのは嬉しいことです。現在卒業生全体の募金額の2割を団体募金が占めています。卒業生等団体募金には、体育会・文化系クラブのOB・OG会からのご寄付、地域ソフィア会をはじめ学部学科や職種ソフィア会などが募って下さったご寄付、金銀銅祝や「ピタウ先生が語る会」はじめ定例のイベントやお祝い時に集まったご寄付などが計上されています。

10月16日に開催されたソフィア会秋季全国代議員会では、募金グッズの売上金から100万円が贈呈されました(累計900万円)。アマゾン・ヤフーなど、ソフィア会ホームページ経由ネットショッピングのアフィリエイト募金も、初年度の一年間で募金額22万円を計上しました。創立100周年を意識して色々な場所でソフィアが集まり、独自の募金計画を立てて活動を始めるグループも生まれていると聞き、上智らしい母校への貢献の姿であると心温まる思いです。

10月25日には2号館ロビーに3枚目の寄付者銘版が完成し、除幕式では高祖理事長が、ご寄付くださった皆さまや卒業生へ祝福の祈りを捧げてください

ました。のべ2534名の個人・団体・企業のお名前が顕彰されています。

また、翌26日は第6回上智大学創立100周年記念事業募金委員会総会が2号館17階国際会議場で開催され、産業界からの募金委員を交えて総勢110名、うち40名近い卒業生募金委員が一同に会しました。高祖理事長、山岡理事、オロリッシュ理事による、グローバル化と少子化を生き抜く上智大学の展望と挑戦、100周年記念事業、国際戦略についてのスピーチに続き、和泉ソフィア会会長により、卒業生としての母校支援の使命感、意気込みが熱く語られました。第2部では石澤学長によるアンコールワットの講演もあり、会場は、社会に奉仕し平和的世界を構築するという一体感に包まれていました。

寄付の形は金銭に限らず、物品や遺贈(社会貢献のための募金を生前に約束すること)など多様です。皆様からの寄付金は100周年記念事業に反映されます。記念事業の詳しい内容は上智大学ホームページに載っており、その中から具体的に用途を指定することもできます。詳しいことは上智学院募金室或いはソフィア会募金委員会にお尋ね下さい。



銘板除幕式 高祖理事長祝福



創立100周年記念事業募金委員会総会



金祝募金目録贈呈



オール英語学科同窓生の集い募金



デュッセルドルフソフィア会



神吉敬三基金

◆ソフィアズカードは年間700万円超の支援になっています。

上智大学教職員・卒業生のみが持つことができるクレジットカードです。ご利用額の0.2~0.5%が手数料としてカード会社から支払われ、年約500万円が学生支援のために使われています。ソフィア会に手数料が支払われても、航空会社のマイレージなど各カードの特典ポイントも得られます。お申込みはソフィア会事務局へ。



◆募金グッズ売上による寄付金、累計900万円に!

上智大学校章や創立100周年ロゴをあしらった「募金グッズ」購入は、その利益のすべてが母校への貢献になります。2006年5月の頒布開始から今日までの約4年間で、上智学院に900万円の寄付をすることができました。2010年4月からは学内頒布を終了し、ソフィア会HPかFAXでの頒布となりますが、引き続きよろしく願います。



学生課外活動支援 文化系11団体、体育会34団体に活動支援金を贈呈

ソフィア会は、春季全国代議員会および総会で承認された「学生課外活動特別支援」の対象45団体を決定し支援金を贈りました。これは、2013年に迎える上智大学創立100周年記念事業目的の一つでもある学生の課外活動活性化を、ソフィア会として支援しようというもので、2010年度事業予算に800万円を計上。大学に登録されている課外活動団体を対象に、文化系団体には7・8月の2ヶ月間大学学生センターが公示により申請を募集し、体育系団体については、体育会所属39団体を組織する体育会本部常任委員会に選考と配分案作成を一任。この結果を受け、学生課外活動支援審査委員会(委員長:和泉ソフィア会長)で審査し9月度ソフィア会常任委員会で決定しました。支援金額は、文化系11団体に一律20万円、体育会34団体には25~5万円。



代議員会懇親会 校歌斉唱

声合唱団アマデウスコールの柴崎昌宏君と体育会常任委員長の上野裕生君から「ソフィア会のご支援に感謝いたします。諸先輩のこの温かいお気持ちを仲間に伝え、今後の活動に励んでまいります」との御礼の挨拶があり、大勢の代議員から激励の拍手をもらっていました。



課外活動支援贈呈式

贈呈セレモニーは、10月16日(土)上智大学2号館5階マルシェで行われたソフィア会秋季全国代議委員会懇親会に先立って実施され、全45団体の学生一人ひとりに和泉会長から支援金目録が手渡されました。その後、学生を代表して混



課外活動支援 学生からの謝辞

ソフィア会課外活動特別支援金についてのお礼の言葉

上智大学の先輩方、日頃より現役学生の活動を御応援して頂きありがとうございます。またこの度体育系・文化系団体の課外活動に対して多大なる御支援を頂いたことについて現役一同誠に感謝し、先輩方の期待に応えられるようより一層努力していこうと思います。必ずやこの支援を結果に結びつけんとの意気で精進して参りますので、これからも御応援よろしくお願いたします。

上智大学 体育団体連合会 第53代常任委員長 上野裕生



この度は私たち課外活動団体へのご支援、誠にありがとうございます。混声合唱団アマデウスコールは今年で30周年を迎え、12月の定期演奏会では団のオリジナルソング、国歌の初演奏をいたします。30年という歴史を刻んできた私たちの団が新たな1ページを、新たな1歩を踏み出すこの機会にこのような形でご支援賜り大変光栄です。お選び頂いた事に恥じぬよう今後も精一杯活動してまいります。

混声合唱団アマデウスコール 柴崎昌宏



2010ソフィア会 学生課外活動特別支援一覧表

■文化系10団体 200万円

1	めぐこ アジアの子供たちの自立を支える会
2	Sophia Flying Turkeys
3	Sophia Racing
4	上智大学放送研究会
5	上智大学混声合唱団アマデウスコール
6	上智大学管弦楽部
7	マンドリーノ
8	アレグリアス
9	上智大学グリークラブ
10	ソフィアフライングディスク"フリーズ"(男子部、女子部)

■体育会34団体 500万円

1	アイスホッケー部	11	応援団	21	剣道部	31	ラクロス部(女子)
2	サッカー部	12	弓道部	22	ゴルフ部	32	少林寺拳法部
3	硬式庭球部(男子)	13	グランドホッケー部	23	柔道部	33	ソフトテニス部(女子)
4	硬式野球部	14	硬式庭球部(女子)	24	自動車部	34	ボクシング部
5	バスケットボール部(男子)	15	水泳部	25	スキー部		
6	ラグビー部	16	洋弓部	26	卓球部		
7	準硬式野球部	17	ヨット部	27	ソフトテニス部(男子)		
8	女子野球部	18	ラクロス部(男子)	28	バドミントン部		
9	バレーボール部(男子)	19	アメリカンフットボール部	29	バレーボール部(女子)		
10	陸上競技部	20	競技ダンス部	30	ハンドボール部		

上智大学創立100周年記念第1回コンサート 盛況裡に終了



上智大学創立100周年記念行事の一環として、第1回コンサート「杉谷昭子ピアノリサイタル」が10月30日(土)、上智大学10号館にて開催されました。日本を代表するピアニストのひとり、杉谷氏が奏でるバッハ、ショパン、ベートーベンに250人の観客が酔いしれました。世界で一番大きなピアノ、ファツィオリF308のまろやかな音色と旋律は、最後のイタリアの2曲によく調和し、会場は別世界に包まれました。

杉谷氏のご主人は上智大学の卒業生で杉谷昭子氏のご厚意により、チケットの売上金45万円は全額上智大学創立100周年事業募金として贈られました。

ピタウ先生の活動

山谷のホスピス「きぼうのいえ」訪問

ピタウ先生(元理事長・元学長)は、お元気に10月20日に82歳を迎えられました。昨年秋に読売新聞の「時代の証言者」で連載され、今年春に「愛ある生き方」(海竜社1,500円)と冊子「時代の証言者」を出され大変好評です。本の印税と売上げの一部は、上智大学100周年募金に寄付されています。

日常的には、時々の上智学院やソフィア会行事へ参加され、月一回の「ピタウ先生が語る会」、ご病人のお見舞いや黙想会のご指導などをされ、SJハウスにお住まいです。

今年、山谷にあるホスピス「きぼうのいえ」の新聞記事をお読みしたら、即、「祝福と病人の見舞いに行きましょう」と仰って6月と9月に訪問いたしました。「きぼうのいえ」は、卒



業生の山本雅基さん(95 神神)が8年前に設立したホームレスや身寄りのない病人を看取るホスピスです。上智コミュニティーカレッジで出会った奥様の美恵子さんと苦労を共にしながら、多くのボランティアや宗教家に支えられて育ててきたNPO活動で、この8年間に120人ほどの方を看取っています。山本さんは山谷の街そのものを希望の街に、日本のマザーテレサの街コルカタにしたいという夢を持っています。「きぼうのいえ」の話を「ピタウ先生が語る会」で紹介され、参加者とソフィア会有志からのご寄付も集まり、チャリティーの輪が広がっています。話題になった千葉茂樹監督の「マザーテレサを生きる」や山田洋二映画「おとうと」は、「きぼうのいえ」がそのモデルになっています。(詳細は、「山谷でホスピスやってます」(山本雅基著・実業の日本社)、「大いなる看取り—山野のホスピスで生きる人びと」(中村智志著・新潮社)、<http://www.kibounoie.info/>)



撮影:フォトグラファー 安田菜津紀(10総教)

故郷イタリア・サルディニア島のヴィラチドロに「ピタウ大司教博物館(仮称)」を開設準備中です。

SOFEX 2010

Sophia-Sogang Festival of Exchange

第1回 上智—西江大学スポーツ交流会開催さる

晩秋のソウルで11月12日から14日の3日間、上智大学と韓国・西江(ソガン)大学とのスポーツ交流会が開催され、上智の選手団、応援団・チアリーディング部120名が訪韓。西江大学構内は上智を歓迎する垂れ幕やポスターで大会一色にまつまれました。12日の開会式に続いて13日には硬式野球、サッカー、男子バスケットボール、男女硬式テニスに熱戦が大学の学生応援を得て展開されました。(結果は、野球:上智27-4西江、サッカー:上智4-0西江、男女硬式テニス上智5-0西江、男子バスケットボール:上智59-74西江)

競技終了後に行われたチアリーディング部の演舞では、上智チアガールのリズムカルで華麗、ダイナミックな演舞に体育館を埋め尽くした西江大学の教職員・学生が驚嘆に似た歓声と拍手を盛んに送り大会は最高の盛り上がりを見せました。閉会式では、次回東京での再会を謳い、両大学学生は何時までも別れを惜しんでいました。

西江大学はイエズス会により1960年に設立され、本学と建学の精神を共有し、1983年から姉妹校として交換留学協定を結ぶなど相互交流を深めてきています。西江大学の今年創立50周年に際し、本年4月に結ばれた「上智大学・西江大学スポーツ・文化交流に関する基本協定」に基づいて実施された初の企画となりました。



写真提供:KEIGADO

上南戦 第51回大会で上智の連覇ならず!!

第51回上智大学・南山大学総合対抗運動競技会は、6月4日から6日の3日間、名古屋の南山大学を会場に開催され31競技で熱戦が繰り広げられました。

上智は、前哨戦として行われたスキーと男子卓球、硬式野球競技では惜しくも敗れましたが、陸上競技と開会式直後に行われたオープニングゲームの男子バスケットボールと男子ラクロスで勝利し、初日を対でスタートしましたが、全競技の結果、総合優勝は南山大学で上智大学は12勝18敗1引き分けで敗れ、昨年に続く連覇を逃し、通算成績は上智の32勝14敗5引き分けとなりました。各競技で熱戦が展開され、そのプレーの展開に一喜一憂しながら応援する一般学生の姿が多く見られ、伝統の大会にふさわしい盛り上がりが見られました。

(体育会OB会長 横原尚樹・70経経)



2010ソフィアズカップゴルフ大会 総合の部優勝は清水威男さん

秋晴れの9月29日(水)、ソフィア会主催の第15回ソフィアズカップゴルフ大会が109名(女性13名)の参加者により開催されました。舞台となったのは、山田肇氏(67法法)のご尽力で、昨年日本オープンの会場となった関東で屈指の名門、武蔵カントリークラブ豊岡コース。各コースの両サイドは松林が広がり、砲台グリーンほどのホールも大きなバンカーにガードされ、松林やバンカーに入れた人は脱出に四苦八苦。しかし、フェアウエーはジュウタンのごとくよく整備された豊かな芝で、参加者はゴルフの醍醐味を満喫していました。

各部門の優勝者は、グランドシニアの部・吉田勉氏(57経経)、女子の部・石井はるみさん(72文社)、注目の総合の部はスコア85(ネット69.4)で回った清水威男氏(66法法)がシニアの部と合わせダブル優勝に輝きました。

なお、ショートホールでのチャリティー募金17万6500円は、上智大学創立100周年記念事業募金に寄付させていただきました。(大会実行委員長 横原尚樹・70経経)



名門、武蔵カントリークラブ豊岡コースで開催

ソフィア会の運営体制の一新を承認して最後の会員総会が閉幕



5月30日のオールソフィアンの集いの日、恒例の定時会員総会が開催されました。今年は金・銀・銅祝の式典が終わってすぐ切れ目なく総会が開催されたため、700名を越える式典参加者の殆どが出席しての総会となりました。また、この会員総会はソフィア会の最高議決機関としての最後の総会でしたので、数ヶ月間検討を続けてくださった最高議決機関検討チームの8名の代議員の方々と総会に出席されたソフィアンにとっては想い出の残る総会になったことと思います。

総会では、下記の案件が承認されました。

- 1.ソフィア会最高議決機関の変更(会員総会から全国代議員会へ)
- 2.次期役員(会長・副会長・監事・代議員)の候補者を選出する常設の選考委員会の設置(具体的な委員の選出は秋季全国代議員会)
- 3.ソフィア会に準会員の新設(学部・学科の在生)
- 4.上記1-3項に伴う会則の改定
- 5.学生の課外活動への特別支援(800万円)
- 6.2009年度決算報告と監査報告および2010年度予算案

また、報告事項としては、昨年10月に北九州ソフィア会のホストにより開催された第1回地域ソフィア会全国大会に続いて、今年は11月6日に関西ソフィア会のホストのもとに第2回地域ソフィア会全国大会が開催されることが発表されました。

上述の議案のなかで特に、第1-3項はソフィア会の組織と運営方法の根幹に係わる案件で、これによって12万人のソフィアンに相応しい体制が整ったことになります。最高議決機関検討チームの代議員の皆さまとご理解いただきました会員総会への出席者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

なお、これらの案件のご承認に伴って、今回の定時会員総会がソフィア会にとって最後の会員総会となりました。今後この会は会員大会と名称が変わり、ソフィア会会長が会務をソフィアンに報告する場となります。

2009年度決算報告 自2009年4月1日 至2010年3月31日

(単位:円)

項 目	2009年度予算 (x)	2009年度実績 (y)	差額 収入(y-x) 支出(x-y)
【収入の部】			
1 積立金徴収額	52,550,000	53,505,000	955,000
2 入会金収入	100,000	60,000	-40,000
3 維持会費(任意)収入	6,000,000	3,822,500	-2,177,500
4 積立金利息収入	3,900,000	4,232,205	332,205
5 カード手数料収入	7,500,000	7,171,048	-328,952
6 クラブ使用料収入	3,500,000	2,704,300	-795,700
7 受取利息	20,000	13,060	-6,940
8 その他収入	2,500,000	884,981	-1,615,019
収入 計(a)	76,070,000	72,393,094	-3,676,906

【経常支出の部】			
1 事務局費			
人件費	10,500,000	6,360,789	4,139,211
法定福利費	70,000	24,988	45,012
業務委託費	380,000	409,500	-29,500
旅費交通費	1,450,000	1,663,920	-213,920
会議費	1,400,000	1,422,403	-22,403
通信運搬費	1,300,000	1,125,238	174,762
印刷費	1,430,000	1,352,692	77,308
消耗品費	1,480,000	1,470,493	9,507
備品費	700,000	687,442	12,558
機材使用料	1,630,000	1,569,344	60,656
渉外費	500,000	151,750	348,250
銀行手数料	210,000	155,725	54,275
その他費用	200,000	957,864	-757,864
事務局費 計	21,250,000	17,352,148	3,897,852
2 事業費			
①広報費			
広報制作費	5,590,000	3,264,527	2,325,473
会報印刷費	4,400,000	3,674,475	725,525
②ソフィアズクラブ			
クラブ人件費	4,700,000	4,492,295	207,705
クラブ業務委託費	470,000	501,200	-31,200
クラブ水道光熱費	400,000	404,310	-4,310
③創立100周年記念寄付(学生支援及び大学支援)	11,000,000	19,217,191	-8,217,191
④ASF運営費	4,000,000	3,338,142	661,858
⑤ソフィアズカード入会推進費	310,000	143,095	166,905
⑥地域・各種ソフィア会連携推進費	3,500,000	3,224,141	275,859
⑦学生支援			
特別講演会費	500,000	0	500,000
寄付講座費	2,000,000	2,000,000	0
その他の学生支援(少祭、上智新聞、上南戦50回大会)	1,180,000	1,155,000	25,000
⑧その他行事費(金銀祝、ゴルフ、クリスマス)	1,770,000	1,309,541	460,459
3 予備費	5,000,000	0	5,000,000
4 基金積立額(s)	10,000,000	10,000,000	0
経常支出 計(b)	76,070,000	70,076,065	5,993,935

当期収支(c=a-b)	0	2,317,029	
積立金(純資産)			
期首積立額(d)	415,112,823	415,112,823	0
当期積立額(e=s)*	10,000,000	10,000,000	0
当期収支差額の積立(f=c)	0	2,317,029	-2,317,029
期末積立額(g=d+e+f)	425,112,823	427,429,852	-2,317,029

(注)2010年度予算は、収入合計74,020,000円、支出合計74,020,000円、積立金増10,000,000円で、期末積立金437,429,852円です。詳細はソフィア会ホームページをご覧ください。

ソフィア会組織図



2010年度金銀銅祝式典 盛大に行われる

5月30日(日)オールソフィアンの集いの日に、総会に先立ち、恒例の金銀銅祝式典が行われました。



金銀銅祝の代表の方々

卒業生で溢れる式典会場

石澤学長からお祝いを
受ける金祝代表



金銀銅祝の皆さん、 おめでとうございます

本年度の対象者数と式典での代表の方々
〈金祝(卒業50年)〉1960年卒472名

祝状／篠崎 晃さん(外西)

花束／竹島久子さん(文英)

挨拶／濱口吉右衛門さん(経経)

〈銀祝(卒業25年)〉1985年卒2338名

祝状／安部俊毅さん(理機)

花束／亀井ゆかりさん(法国)

挨拶／宮越俊光さん(神神)

〈銅祝(卒業15年)〉1995年卒2418名

祝状／河野智子さん(外英)

花束／中島幸子さん(法法)

挨拶／彭淳賛(ペンスンチャン)さん(法法)

当日10時30分から10号館講堂で金・銀・銅祝式典が行われました。今年の金祝は1960年卒、銀祝は1985年卒、銅祝は1995年卒。当日は約700名が出席しました。まず石澤良昭上智大学学長が卒業生への感謝を込めた式辞を述べた後、各代表にラテン語で「世の光、地の塩となられますように」と書かれた祝状と花束を贈呈。また高祖敏明上智学院理事長が祝辞で、「ソフィア通りの土手を毎春彩る桜並木を最初に植えたのは当時の上智大生で、今年の金祝の一人、佐竹章夫さんでした」と新聞記事とともに会場にいた佐竹さんを紹介すると、会場は大きなよめきに包まれました。その後、金銀銅祝各代表が謝辞を述べました。式後はそれぞれの世代が祝賀会場で旧交を温めあっていました。

■金祝代表、濱口吉右衛門さん(60経経)

「今日は時計を50年前に戻して、天国にいる仲間も呼んで皆でワッとやりたい。4年間楽しい学生生活をさせていただいた母校にこれからお返しをしたい」



■銀祝代表、宮越俊光さん(85神神)

「今年の銀祝のテーマは、『あの頃の未来に乾杯!』。私たちの過去と現在と未来をつなぐ祝杯です。慈しみ深い神よ、今日私たちが母校に集めてくださったことを感謝します。アーメン」



■銅祝代表、彭淳賛(ペンスンチャン)さん(95法法)

「仕事などで行く先々にソフィアンにお会いし、上智大学が与えてくれた温かい繋がりを感じています。繋がりを大切にし、お世話になった大学に還元したい」



金祝、2011年5月29日に向けて

引き継がれた松明

2010年の金祝は大盛会であった。これは、1年間の長い準備を経て実現したもので、これを受けて早くも9月15日には学内11号館7階の会議室で、引き継ぎの会が持たれた。この日、今年の金祝実行委員長濱口氏以下8人、来年の実行委員長堀井氏以下20人、計28人の新旧金祝実行委員の皆さんが集い、今年の金祝の準備

段階での苦労話や来年度の金祝に向けてのさまざまな企画アイデアが議論され本格的な準備がスタートしました。

当日は、和泉会長も顔を出され、1961年卒の金祝組を5月29日に母校に迎えることの喜びと意義を語り、盛会となることを期待する旨激励された。

大盛況の金銀銅祝パーティー

5月30日に上智大学10号館講堂で行われた金・銀・銅祝式典の後、各年代別の祝賀パーティーが開かれ、久しぶりに旧交を温める卒業生で賑わいました。笑顔がいっぱいの盛況の影には、実行委員たちの熱意と周到な準備が見られました。



銀祝募金目録贈呈

金 卒業して50年! 入念な準備ではじける金祝パワー

1960年卒「2010金祝祝賀会」は、卒業生160名、同伴者27名の出席の下、盛大に行われました。祝賀会実行委員会は1年半近く前からスタートし、名簿の整備、金祝の在り方、祝賀会の内容など、作業と同時にいろいろ



金祝祝賀会のスタッフ

議論も重ね、大学やソフィア会にも望外なご協力を頂きました。祝賀会は22のテーブルを学科で振分けし、着席、ビュッフェ形式のパーティとしました。そのため、受付事務や学科以外の交流がスムーズになりました。また、グリー現役・OB混成合唱団によるオープニング、大学応援団のエンディング、1984年卒の三溝女史の司会、4人の現役1年生の作業補助など後輩の支援をもらいました。

金祝祝賀会担当 川野武男(60文新)

銀 卒業25年 これからの未来に乾杯!

「『あの頃の未来』に乾杯!」をタイトルに掲げた2010銀祝パーティー。440名を超えるたくさんの同期が2号館学食に集いました。中には海外から一時帰国して参加された方も。賑やかに再会を楽しんだ後、ヨゼフ・ピタウ先生の「弱者に手を差し伸べるのが上智の精神」という有難いお話しに感激し、涙。新井満先輩からは、氏の訳した「青春とは」という詩の中から、アラフィフの私たちにふさわしい部分を抜粋してお祝いのメッセージとして贈っていただきました。最後に「私たちの『あの頃の未来』はまだまだ続く」ということで、みんなで「『これからの未来』に乾杯!」と唱和して、名残惜しいひとときの幕を閉じました。

2010銀祝準備委員長 山崎富美雄(85外英)



聖歌隊宮越さん指揮の下、校歌斉唱 「『これからの未来』に乾杯!」(山崎準備委員長)



子供や孫を連れてきた参加者も



応援団のアトラクション

銅 「つながる」がテーマ! 参加費をソフィア会維持会費に

準備の当初より、人集めが出来ず心配していましたが、当日は90名余の方と大勢のお子様に参加頂き、お陰さまで大変賑やかな集いになりました。

今年のASFにならない、「つながる」をテーマにしました。参加者同士の親睦を深めて頂くことはもちろん、参加費の中からソフィア会や大学への寄付を試みて、タテヨコに「つながる」意味を込めることを目標にしました。お一人千円の会費からソフィア会の維持会費として5万5千円を納めました。主旨に賛同し、不参加にも関わらず会費をおいて行ってくくださった皆様、本当にありがとうございました。

2010年銅祝実行委員



直撃インタビュー

佐竹章夫さん(60外英)に聞く

桜の花を見た時は、体が震えてね。目頭が熱くなった

上智の正門前の土手に初めて桜を植えたのは、当時学生だった佐竹さん。そのエピソードは、式典でも紹介され、注目を集めました。式典後、祝賀会場で歓談中の佐竹さんに、お話を伺ってみました。

——金祝おめでとうございます。式典で「金祝の誇り」として紹介されたことが、卒業を前になぜ土手に桜を植えようと思われたのですか?

佐竹 上智に入って、空手部に入って、師範の安江泰雅先生に会ったこと。そして空手部の主将だった間、空手部を部員60名と上智で最大の運動部にした。その記念に何か残したいと思ったんだね。それで60本の桜の苗木を植えたいと思った。当時の土手は殺風景でね。また私は土佐生まれで、いごっそう、酒飲み。桜の下で仲間と酒も飲みたかったのも、理由の一つ。

——役所の許可を取るのは大変だったのでは?

佐竹 それがね、役所に行って話したら「ああ、いいですよ」とそれだけ。戦後まだ15年ぐらいでしょ、役所も予算がないんですよ、道路直すだけでも大変だった頃ですよ。手伝ってくれる後輩5、6人と手分けして、苗木を新宿の花屋から四谷まで歩いて持って帰った。先生方は一体何をやっているんだろうと思ったでしょうね。外国人の神父様が不思議そうな顔をして長いこと見ていたのを覚えています。

——卒業後はどうされたのですか?

佐竹 当時は就職先がなく、空手部の先輩から「お前、就職先のないのならうちに来い」と言われ小さな貿易会社に入った。ところが2年ぐらいて、資金繰りがうまくいかず、「佐竹君、悪いけど辞めてくれ」と。しかたなくアルバイトで食いつないでいた。桜のことは忘れていたけど、ある日なんとなく上智に来たんですね。教会のところを曲がった時、桜が花をつけていてね。ものすごく感動したね。体が震えて目頭が熱くなった。しょぼくっていたからですよ、心が。社会の底辺にいたわけだから。

——自分が植えた桜の花に元気づけられたわけですね。

佐竹 そう。それから頑張って中堅商社に入り、貿易部門で20年間働いた。そして工業用精密ろ過機で現在世界最大手の米国のポールコーポレーションの日本の代理店、日本ポール株式会社の社長になった(会長も歴任)。いまは故郷、高知県の「四万十市経済文化活性化戦略会議」の議長をしています。



1960年頃のソフィア通り



今のソフィア通り

来年の金銀銅祝実行委員募集

金 →1961(昭和36)年卒 銀 →1986(昭和61)年卒 銅 →1996(平成8)年卒
一生に一度のお祝いを盛り上げましょう。積極的なご参加をお待ちしています。お問い合わせは事務局まで。



メインステージでのダンスパフォーマンス



石澤学長が最後の一つを積んで、3万個の積み木による「アンコールワット」が完成

ALL SOPHIANS'

～オールソフィアンの集い2010～



毎年5月の最終日曜日、四谷キャンパスで行われるオールソフィアンの集い。今年も多くの方、ご家族、地域の皆様にご来場いただきました。なつかしい人との再会、新しいソフィアンとの出会い、さらに次の世代をソフィアンに導くさまざまな企画が行われました。現役学生が例年にも増して力を発揮し、卒業生と一体になってつくりあげたASF2010、当日の様子をご覧ください。



カリー元学長恒例の弾き語り



広告研究会OBによるお餅つき



駐日英国大使館太鼓会による演技



ソフィアーズ・ブックカフェでは、卒業生の著書を展示



石澤学長から花束を授与される金祝の卒業生



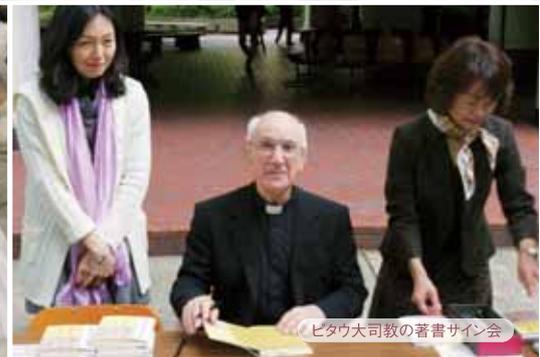
体育館で「フリース」OBが子供たちに「ドッジビー」を指導



聖イグナチオ教会マリア聖堂での記念ミサ



プロ棋士との対局



ピタウ大司教の著書サイン会



真田堀の野球場を使って、親子参加の「友遊ボール」(少年向け野球)



ひとつひとつ積み木を積んでいきます。完成まであとわずか



FESTIVAL 2010



ステージでのグランドフィナーレ



当日はSJガーデンにとなたでも入れます



現役学生による模擬店



金祝賀会会場にて



銀祝パーティーの司会は入船亭扇治師匠



今年のASFスタッフ。現役学生もたくさん手伝ってくれました



金銀銅祝式典で校歌斉唱

★2013年の100周年記念オールソフィアンの集いまであと3年。
カウントダウンを始めた2008年以來着々と進んでいます。
ASF2011にはあなたのお力をお貸し下さい。

ソフィアンの 広場

紙面のスペースの制約で皆さまからのお便りを全て掲載できませんが、できるだけ多く紹介するため、字数を200字程度にさせていただきます。ソフィア会ホームページでは原則として全ての記事を掲載し、全文を紹介させていただきますので、どうぞご了承ください。また、次回投稿くださる際には、皆さまのソフィア会の公開可能なメールアドレスを記事の末尾に記載いただきたく、お願いします。赴任者、留学生他からおりおり連絡先の問い合わせをいただきます。御地在住ソフィアンでも連絡先をご存じない方もいらっしゃるようです。開催日の記載もお忘れなく。

〈海外ソフィア会〉

香港ソフィア会

開催日:4月24日

香港日本人倶楽部にて、香港ソフィア会の総会が開催されました。18名の方プラスお子様一人が参加。アットホームな雰囲気の中、楽しい会となりました。また、幹事、会計、メール係がそれぞれ改選になりました。今後もソフィアン同士の活発な交流を目指して、活動を展開していきます。まだ参加されなかった香港在住のソフィアンの方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

阿阪 修(70外葡)



サンティアゴソフィア会

開催日:2月19日、3月18日

2月27日に当地にて発生しました地震に際しては、沢山の方々より当地ソフィア会メンバー宛に、お見舞い或いは激励のメールや電話を頂戴致しました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。家屋等への被害は甚大でありましたが、当地ソフィア会メンバーに於きましては、家族共々、幸いにして人的被害は免れておりますこと、謹んでご報告させていただきます。さて、当地に於きましては、地震を挟んで2月19日に中村さん、福島さん、3月18日には富士田さんと、相次いで送別会を開催いたしました。

山口太郎(90外葡)



ワシントンDCソフィア会

開催日:6月20日

ワシントンDCソフィア会では初の試みとして、大リーグワシントン・ナショナルズの観戦会を企画しました。家族を含めて16名のソフィアンが集り、球場内のピクニックエリアでBBQランチを楽しんだ後、試合を観戦しました。残念ながら、ナショナルズは負けてしまいましたが、歓談しながらの野球観戦は楽しいひとときになりました。

早川俊行(96外独)



デュッセルドルフソフィア会

開催日:6月26日

当地ソフィア会の夏のビッグイベント、バーベキュー大会に、今年はホテル鑑賞会も同時開催しました。遠くは600km離れたドイツ東部のエアフルトやオランダからのメンバーも含め、約30名のソフィアンズ&Coが参加、これ以上ないくらい恵まれたBBQ日和の土曜の午後、幹事が用意した焼きそば、参加者が持ち寄った料理に当地特産のアルトビール20リットルがあつという間になくなりました。ホテル鑑賞は、オランダ国境近くの森の中にお住まいのフックス真理子会員のお宅で楽しみました。

新井一郎(81外独)



LAソフィア会

開催日:7月17日

いつもと趣を少し変えて、ロス市内の韓国宮廷料理のお店で懇親会を行いました。あいにく夏休み真っ最中ということで、参加者は限られましたが、四組の初参加者もありました。南カリフォルニア大学ゴルフ対抗戦を戦い抜いた武者たちを中心に和気あいあいと、あつという間に時間が過ぎ、楽しい時間をシェアすることが出来ました。初対面で学年が違っても共通の友人がいたり、世の中の狭さを実感しました。ソフィア会の輪がますます広がっていくのが楽しみです。

高田偉差子(82文教)



上海ソフィア会

開催日:7月26日

上海に来訪された上智学院オロリッシュ副学長、木村総務局長および須田学院改革推進室グループ長をお招きして、上海ソフィア会を開催いたしました。月曜日でしたが上海ソフィアンも16名が集い、中華料理を囲みつつ上智学院と中国との関係を今後更に深めていくために精力的に活動されている副学長はじめ学院の方々のお話を伺うことができました。上海ソフィア会はまだまだ小規模ですが、今後の上智学院の中国との関係とともに、益々発展してゆくことを希望しております。

池田綾太郎(94法法)



キエフソフィア会

開催日:9月20日

この度、キエフソフィア会を発足させることになり、9月20日、設立メンバー7名全員がスペイン料理店「LA PAELLA」に集合。第1回キエフソフィア会を開催しました。ウクライナが独立してから18年、漸く地域(海外)ソフィア会の仲間入りをする事ができました。当日は上智会館、ホフマンホール、学食のAカレーなど懐かしい話題が尽きず、最後にお店の前の道端にて、大声で「校歌」を「学生歌」を歌って締めました。

富田健司(88外露)



〈国内ソフィア会〉

さいたまソフィアンズ倶楽部

開催日:4月14日

母校の11号館にて9周年パーティーを開催しました。高祖理事長、石澤学長をはじめソフィア会の和泉会長、戸川副会長もご出席いただき、さいたまソフィアン28名ともども賑やかに懇親のひとときをすごしました。今回のテーマとして、新たに発足した「ソフィア経済人倶楽部」を広く紹介する企画を立て、発足理事のひとりである伊藤麻美さん(90外比・さいたまソフィアン・日本電鍍工業代表者)にゲストスピーカーとして語っていただきました。

古屋 毅(57経商)



鎌倉ソフィア会

開催日:5月8日

山歩きの名リーダー、岩崎淳一さん(66経経)と田頭清作さん(66理化)に導かれて、ソフィアンと家族16名が「広町の森」に大桐を、「夫婦池」にカワセミを求めて緑の中を歩きました。鎌倉新発見。多彩なソフィアンとの出会い。本当に楽しい一日でした。鎌倉ソフィア会では昨年

11月にも広町の森ハイキングを開催。今年2月には新年会に31名が集いました。今後も折々にアウトドアやミニイベントを予定しています。鎌倉在住に限らず、飛び入り参加大歓迎です。

関 美江子(77外仏)



板橋ソフィア会

開催日5月23日

第16回目の「総会・懇親会」を大山駅近くのハッピーロード商店街「コミュニティーホール」で開催しました。石澤学長、和泉ソフィア会会長を来賓としてお迎えし、区外から参加の方も含めて26名が集い盛り上がりました。総会では、「創立100周年記念事業」への寄付が承認され、これで5回目累計15万円となりました。懇親会では、石澤学長から母校の国際的教育の展望やアンコールワット調査についてのお話を伺い、和泉会長からはソフィア会の改革について力強いメッセージをいただきました。

田中 勉(72文社)

第十六回 板橋ソフィア会



熊本ソフィア会

開催日:6月27日

ソフィアンがオーナーである創業76年の熊本の老舗中華料理店「紅蘭亭」で、総会を開催しました。今年はソフィアン落語家、真打の入船亭扇治師匠に総会に合わせて熊本にお越しいただき、昼は独演会をセッティング、夜は総会のアトラクションとして、一席お願いしました。総会後の懇親会は、扇治師匠を交えて歓談、熊本でしか見られない郷土料理「太平燕」を食べ、二次会へ。扇治師匠、最後までお付き合いいただきありがとうございました。

小森田司朗(76法法)



立川ソフィア会

開催日:6月27日

第9回立川ソフィア会を、伊勢丹バンケットルームにて開催いたしました。お忙しい中、ソフィア会の石川・星島両常任委員にもお越しいただき、24名のソフィアンとともに、楽しい語らいの時間をもつことができました。今回参加できなかった立川ソフィアンの皆さまも次回は是非ご参加くださいますよう、幹事一同心よりお待ちしております。

平野善則(77年経経)



福岡ソフィア会

開催日:7月10日

あいにくの雨となりましたが、翌日の福岡地区地域懇談会のために来福された石澤学長ら先生方、ソフィア会の石川・池田両常任委員を交え、総勢55名が参加。荒天を吹き飛ばすほどの盛会になりました。福岡市博物館でその日から開催が始まったアンコールワット展、泰星中学高等学校が上智と教育提携された件など、大学と福岡をつなぐ話題も多く、また、J2のAvispa福岡の代表取締役でソフィアンの大塚唯史さんを密着している地元テレビ局のカメラも入り、お酒や料理以外でもお腹一杯の会になりました。

西村仁宏(87経営)



静岡県ソフィア会

開催日:7月10日

浜松市駅前のプレスタワー15階で、2010年度の静岡県ソフィア会総会を開催しました。総会後は懇親会が行われ、静岡県在住のソフィアン40名が参加しました。今回は、音楽の町、浜松での開催に相応しく、ジャズのコンサートを企画、ソフィアンのジャズシンガー、渡邊良水さんの演奏を楽しみました。恒例のオークションには、様々な品物が出品され、売上金12万円を母校の100周年記念事業に寄付できました。最後は校歌を斉唱して来年の再会を約し、お開きしました。

高原明夫(71文教)



四街道ソフィア会

開催日:7月10日

初夏の土曜日の午後、千葉市内のイタリアンレストランで、第7回四街道ソフィア会を開催しました。今回は隣の佐倉市在住ソフィアンと合同で開催したところ佐倉から16名、四街道から10名、計26名が参加し、ソフィア会からも星島常任委員が出席していただき、有意義な楽しい会になりました。今後は<四街道・佐倉ソフィア会>として継続することになり、今後の交流の広がりが楽しみです。

久米倫男(63経経)



山梨ソフィア会

開催日:9月11日

午後6時より甲府・バヴィオンサドヤで、平成22年度山梨ソフィア会総会を開催しました。総会の議案の1つに、例年にない重要な案件があり、深澤会長からの趣旨説明の後に満場一致で可決。この案件は、11月6日に大阪で開催される第2回地域ソフィア会全国大会で披露される予定です。総会後の懇親会は、例年にない高揚感の漂う会になりました。ソフィア会からも風間常任委員、津久井事務局主事、伊達IT改善担当が参加され、地元会員役30人と和やかに交流されました。

入倉秀樹(86理電)



北多摩ソフィア会

開催日:10月30日

2001年4月に設立された北多摩ソフィア会は、この度東村山市栄町ふれあいセンターにて4回目の懇親会を開催しました。

今回は、幅広い年代の方14名のソフィアンが集いました。ソフィア会からワインをいただき、また組織委員会の石川委員長も参加いただき、和やかな雰囲気の中で談笑して話題が尽きなかったため、会を延長しました。当会は北多摩地区に限らず参加できます。お問合せは、幹事までお気軽にどうぞ。

連絡先:北多摩ソフィア会幹事 久保忠伴(77理機院) tadatomokubo@yahoo.co.jp
増田和伸(84理化) 記



〈各種ソフィア会・クラス会〉

トヨタ自動車ソフィア会

開催日:4月23日

トヨタ自動車に勤務しているソフィアが集り、年に一回4月に「トヨタ自動車ソフィア会」を開催しています。会は2007年にスタートし、今回で4回目です。今年は4月23日に名古屋・栄のイタリアレストランを借り切って実施し、50名のソフィアが集いました。

今吉翔一(05理機)



碁鷺会

開催日:5月30日

ASFに開催する恒例の「囲碁サロン」では、女流インストラクター、下田和美さんを迎え、次々に訪れる高段者への指導碁が行われました。また、初めての試みで体育館に開設したキッズ囲碁コーナーでは、子供ではなく大人への初心者指導をする光景が目立ち、子供さんに負けたくないお母様の姿もありました。午後には、ソフィア女流棋士小山栄美六段(H5文社)も駆けつけてくださいました。なお、前日の5月29日には「ダイヤモンド囲碁サロン」でオールソフィアズ囲碁大会を開催しました。

古屋 毅(57経商)



フランス語学科同窓会

開催日:4月25日

母校11号館ラウンジに、石澤学長、和泉ソフィア会会長はじめ5名の来賓と140名近い同窓生が集い、フランス語学科同窓会設立25周年記念パーティーが賑やかに開催されました。物故者への黙祷、「フランス語学科の玉手箱—50年、未来へつなぐ同窓会」をテーマにしたパネルディスカッションの後は懇親会。ブルゴーニュのワイナリーに嫁いだ卒業生から寄贈された名醸ワインなどをいただきながら盛り上がりました。最後は恒例のロベルジュ師の「Bibi Lolo」で会を締めました。

山岸真太郎(87外仏)



ボッシュタウンの会('57年卒業)

開催日:6月13日

我々、'57年卒業のボッシュタウンも卒業後、半世紀を過ぎました。毎年、持ち回りで、各地でお互いの元気な姿を見せていますが、今年は、平城遷都1300年に因んで、古都奈良の大和路に集りました。お互い、年齢は重ねてきていますが、話題は学生時代の若さ澆刺の雰囲気でした。

徳永正宣(57経商)



上智シネマ愛好会(SCA)

開催日:5月29日

今年は創部35周年の節目にあたり、30名を越すOB・OGと現役学生がスクワール麹町に集まって親睦会を開催しました。昨年の約束通り、今年は現役学生の製作した作品(トイストーリーぱり)にレゴ・ブロックを組立コマ撮りしたアニメ風動画を上映、その後全員で脚本内容や映像技術力などの講評を行い、実に有意義な親睦会となりました。「OB会参加者をもっと増やし、末永く親睦会を

続けていこう」との共通認識とその意欲を深めつつ散会、しみち通りの二次会に向かいました。恒松秀臣、渡邊泰仁、鈴木正彦(77経営)



聖アロイジオ塾同窓会

開催日:6月21日

恒例の聖アロイジオ塾同窓会が6月21日の聖アロイジオの祝日にクルトゥルハイム聖堂とSJハウスで開催されました。1996年に故永井誠一君(58文新)の発案で始まった聖アロイジオ塾同窓会も今年は第15回。何時の間にか全員が後期高齢者になって仕舞い、会員の高齢化や健康問題もあり、また世話人会の開催も難しくなって来た為、定期的な同窓会は残念ながら今年が最後となりました。皆さんの健康をお祈りしています。

中島貞夫(55経経)



丸紅ソフィア会

開催日:7月22日

恒例の新入社員歓迎会を開催しました。現在丸紅には約130名のソフィアが在籍していますが、当日はOBや事業会社在籍の方々への参加もあり、総勢34名の出席となりました。丸紅ソフィア会は設立40年を超えますが、所属・役職・年齢を超えて気軽にオープンな交流の場を提供するプラットフォームの機能を果たしていきたいと考えています。事務局では活動をよりパワフルに展開することを画策中です。これまでご出席いただいていない丸紅ソフィアの皆さまも次回是非ご参加を!

武田和憲(81外露)



イスパニア語学科同窓会

開催日:5月30日

ASFの当日、4回目のイスパニア語学科同窓会のOB会総会、続いて在校生を含めた親睦会が開催されました。総会では、事務局から昨年度の活動報告と会計報告、今年度の活動計画が承認されました。引き続き同じ場所で親睦会が開かれ、OB・在校生それぞれの会長の挨拶、大越学科長による乾杯、懇談となりました。懐かしい顔を見つけての談笑や、在校生との懇談の場面がいたる所で繰り広げられました。途中で金祝に参加した2期生(60年卒)21名が入場され、全員でお祝いしました。

澤田弘明(64外西)



Ⅱ 〈次世代活性化委員会イベント報告〉

■第3回ソフィアンで考えるキャリアアップセミナー

7月14日(水)、上智大学11号館にて恒例になりました「ソフィアンで考えるキャリアアップセミナー」が開催されました。今回は、現役・OBのソフィアン29名が参加。

前半は、3名の卒業生パネラーから、それぞれのここまでの軌跡、見てきた経験、キャリアアップに関しての考え方などを語っていただき、後半のグループディスカッションでは、約1時間に渡って、様々な議論・ミニ相談会が行われました。1テーブル4名前後の規模で、濃い話がお互いのでき、参加者の満足度も高かったようです。

次世代活性化委員会イベント幹事：江南隆司(94理化)



グループディスカッションでミニ相談会



セミナー終了後の懇親会でも議論がつづいた

■第2回ソフィアンBBQ交流会@SJハウス庭園

4月18日(日)緑生い茂る心地よいガーデンにて、交流会を開催しました。当日はとて良い天気恵まれ、20~30代若手ソフィアンを中心に、昭和卒の大先輩方、現役学生が集まり約50名にて楽しく親睦を深めました。

なんと、Jean-Claude Hollerich 先生(上智学院理事・上智大学副学長)及びDonal Doyle 先生(上智大学名誉教授・SJハウス院長代理)にもご参加いただきました。

今後もソフィアン同士の繋がり、ソフィアンと大学との繋がりに貢献できるようなイベントが企画開催できれば良いと思います。

次世代活性化委員会イベント幹事：藤本洋生(00法法)



Ⅱ ソフィア経済人倶楽部による 第1回ワイナリーツアーが実施されました

9月25日、大学北門前につけた貸切バスに特別ゲストのピタウ大司教様とソフィアン22名が乗り込み、牛久市の「シャトー カミヤ」へ向け出発。現地では社長やシェフのお出迎えを受け恐縮し、更に通常は非公開のシャトー内部を、シャトーを知り尽くした素晴らしいガイドにご案内戴き、明治の経済人の華やかな交友関係を示す写真、絵画、大食堂などで当時思いを馳せ、フランス料理レストラン「キャノン」ではシェフ渾身のお料理と素晴らしいワインのマリアージュを楽しみました。その後、大司教様の願いで庭園内のチャペルもご案内戴きましたが、入り口で大司教様が祭壇に向かい深々と一礼され入室されたのが印象的でした。 上原隆一(76経営)



Ⅱ 上智大学応援団 創団50周年記念祝賀会

秋晴れの10月23日(土)。上智大学応援団創団50周年記念祝賀会を9号館カフェテリアで開催致しました。

「母校愛の高揚」を目的として、創団され半世紀。神宮球場での硬式野球部入れ替え戦での熱狂応援、上南戦での声をからしての応援、提灯行列での先導、海外赴任の仲間への空港でのエール…。数々の思い出を胸に1964年卒業の初代から今年卒業の新OBまで130名が全国から集い、来賓の高祖理事長始め大学関係者、ソフィア会の仲間、OB・現役合わせ100名を越す体育会各部の仲間達と、あの頃を語り、枱酒を飲み交わし、写真を撮り合い…。300名の大宴会となりました。

同会場での2次会では、応援団OB・現役に加え、体育会の仲間も多数参加し、大騒ぎ、南山大学応援団OBとのエール交換でお開きとなりました。100周年へ向けての新たな活動がスタートしました。押忍

1970卒応援団リーダー部 福井哲夫(文独)



Ⅱ 第8回全日本学生フォーミュラ大会 昨年と同じく総合成績第2位

9月7~11日、静岡の小笠山総合運動公園で第8回日本学生フォーミュラ大会が開催され、本学のSophia Racing が出場。車両コンセプトのプレゼンテーション、コスト審査などの静的競技と、加速性能、コーナリング性能などの動的競技を競ったが、動的競技での減点が響いて、総合成績は昨年同様第2位という悔いの残る結果になった。

Sophia Racing はこの後、12月にオーストラリア大会に出場予定。更に来年の全日本フォーミュラ大会での雪辱を期す。



